

地域を守る観光と アルベルゴ・ディフーズを考える 日伊シンポジウム

空き家率75%の山村を再生させた“キルグレン氏をお招きして



第1部

2021年、イタリアの空き家は958万軒、日本は約900万軒と共に大きな社会問題となっています。そこで、アブルツォ州の標高1250mの山村サント・ステファノ・ディ・セッサニオで古民家ホテル群「セクスタンティオ」を運営するダニエーレ・キルグレン氏をお招きし、その貴重な経験をお伺いします。

第2部

空き家だった古民家を修復し、まちの存続と文化の保存をかけてホテル群を展開する日本の実践者の方々をお招きし、地方を再生させ、世代交代を促す、これからの観光について伺います。

ファシリテーター 日本ファームステイ協会理事長 皆川芳嗣

主催 一般社団法人日本ファームステイ協会
イタリア文化会館

コーディネート・通訳 島村菜津(作家)

後援 地域を守る観光とアルベルゴ・ディフーズを
考える有志の会

協賛 株式会社日本旅行 セクスタンティオ/Sextantio

ありがとう!もっともっと!つなぐ未来へ



2025 9. 26 FRI

- 開場 18:00
- 開演 18:30-20:30
- 会費 無料
- 場所 イタリア文化会館ホール
東京都千代田区九段南2丁目1-30

MAP イタリア文化会館



地域を守る観光とアルベルゴ・ディフーズを考える日伊シンポジウム

第1部

18:30-19:20

ごあいさつ

イタリア文化会館館長 シルヴァーナ・デマイオさん
「日本ファームステイ協会」代表理事 上山康博さん

ダニエーレ・キルグレン講演会 『イタリア中山間地の存続と地域文化遺産』 通訳 島村菜津(作家)



Daniele Kihlgren

ミラノ生まれ。1999年、別荘を含めれば75%が空き家だったアブルッツォ州の標高1250mの山村サント・ステファノ・ディ・セッサニオを、イタリアを象徴する文化遺産と位置づけ、私財と長い歳月を投じて修復。2005年、ホテル群『セクタンティオ』を実現し、山村の経済と世代交代に貢献した。また適切な修復の結果、二度の震災でも村に人的被害はなかった。2013年、かつて「イタリアの恥」と呼ばれたバジリカータ州マテーラの洞窟住居に第2のホテル群を実現、ファイナンシャル・タイムズ、NYタイムズ等と多くのメディアで称賛された。

第2部

19:35-20:30

『地域を豊かにする観光とアルベルゴ・ディフーズとは』 ～キルグレン氏を交えて～



ファシリテーター
日本ファームステイ協会
理事長 皆川 芳嗣



「さとゆめ」代表
嶋田 俊平さん
山梨県小菅村の「NIPPONIA小菅 源流の村」
のお話を軸に



「里山十帖」代表
岩佐 十良さん
滋賀県大津市の「商店街ホテル
講」のお話を軸に



長崎県平戸市市長
黒田 成彦さん
アルベルゴ・ディフーズタウンを推進するお話
を軸に

■お申し込み・お問い合わせ

下記のイタリア文化会館イベント案内ページよりお申込みください
[シンポジウム「地域を守る観光とアルベルゴ・ディフーズを考える」](#)
[- Istituto Italiano di Cultura di Tokyo](#)



お問い合わせ: [日本ファームステイ協会](#) <https://jpcsa.org/contact/>

主催 一般社団法人日本ファームステイ協会 イタリア文化会館

コーディネート・通訳 島村菜津(作家)

後援 地域を守る観光とアルベルゴ・ディフーズを考える有志の会

協賛 株式会社日本旅行 セクスタンティオ/Sextantio

